

ディーラーマニュアル

デュアルピボットキャリパーブレーキ/ デュアルコントロールレバー

BR-9000
BR-9010
BR-6800
BR-6810
BR-5800
BR-5810
BR-RS500
BR-5710

BC-9000
BC-R680

SM-CB90

目次

重要なお知らせ	3
安全のために	4
取付け	7
ハンドルバーへの取付け	7
ブレーキケーブルの取付け	8
SM-CB90取付け方法	11
ブレーキキャリパーの取付け	12
ブレーキシューのセット位置	21
BC-9000 / R680ケーブルの固定	22
調整	26
アーチのバネ力調整	26
シュークリアランスの再調整 (ブレーキシューの磨耗時)	27
メンテナンス	30
カートリッジシューの交換	30
ブレーキシュー特性	32

重要なお知らせ

- ディーラーマニュアルは自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方を対象としています。専門知識のないユーザーがディーラーマニュアルを参照して、部品を取付けしないでください。記載されている内容に不明な点がある場合は絶対にご自身で作業せず、購入された販売店、または代理店へご相談ください。
- 各製品に付属している取扱説明書も併せてよくお読みください。
- ディーラーマニュアルに書かれていない製品の分解、改造はおこなわないでください。
- 全ての取扱説明書、ディーラーマニュアルはウェブサイト(<http://si.shimano.com>)でご覧いただけます。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。

安全のため、必ずこのディーラーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険

「死亡や重傷を負う恐れが大きい内容」です。

警告

「死亡や重傷を負う恐れがある内容」です。

注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容」です。

安全のために

警告

- 製品を取付ける際は、必ず説明書などに示している指示を守ってください。
その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトやナットなどが緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。
また、調整が正しくない場合、不具合が発生し、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
-  部品の交換など、メンテナンス作業中は、安全メガネまたはゴーグルを着用し、眼を保護してください。
- ディーラーマニュアルはよくお読みになった後、大切に保管してください。

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- 自転車は、製品によって取扱いが多少異なることがあります。したがって、ブレーキレバーへの入力や自転車の操作特性などを含め、個々の自転車のブレーキシステムの適切な操作を充分理解し慣れるようにしてください。
ブレーキシステムの操作が適切でないと自転車のコントロールを失い、転倒して大怪我をする可能性があります。
適切な操作については、自転車専門店にご相談いただき、また自転車の取扱説明書もよくお読みください。ご自分の自転車にお乗りになって、ブレーキ操作などを練習していただくことも大切です。
- 前ブレーキを強くかけると前輪がロックし、自転車が前方向に転倒して重傷を負う可能性があります。
- 乗車前には必ず前後のブレーキが正しく作動するかどうか確認してください。
- 雨天時は制動距離が長くなります。スピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をしてください。
- 路面がぬれていると、タイヤがスリップし易くなります。タイヤがスリップすると転倒して危険ですので、スピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をしてください。
- ブレーキシューに油脂が付かないように注意してください。シューに油脂が付いた場合は販売店または代理店へご相談ください。ブレーキが効かなくなって危険です。
- ブレーキケーブルはサビ、ほつれあるいはひび割れがないか点検し、ある場合は販売店または代理店へご相談ください。ブレーキが効かなくなり危険です。
- レバーの加工はカーボンの特性上厳禁です。レバーが折れてブレーキ操作ができなくなります。
- 乗車前にカーボンの剥離やクラックなどのダメージがないか確認してください。ダメージがあれば使用しないで販売店または代理店へご相談ください。レバーが折れてブレーキ操作ができなくなります。

自転車への組付け、整備に関する事項

- ブレーキは下図対応表の組合わせでデュアルコントロールレバーまたはブレーキレバーをご使用ください。対応表にある"NO!"の組合わせでは使用しないでください。
極端なブレーキの効き過ぎにより、転倒する恐れがあります。

キャリパー ブレーキ	組合わせ	デュアルコントロールレバー	ブレーキレバー
BR-9000 BR-9010 BR-7900 BR-6800 BR-6810 BR-5800 BR-5810 BR-RS500 BR-5710 BR-5700	OK	ST-9070 ST-9071 ST-9001 ST-9000 ST-6870 ST-6871 ST-6800 ST-6770 ST-5800 ST-5700 ST-4600 ST-3500 ST-2400 ST-R460 ST-R353 ST-R350	BL-4600 BL-3500 BL-R780 BL-2400 BL-TT79
		上記以外の デュアルコントロールレバー	上記以外の ブレーキレバー

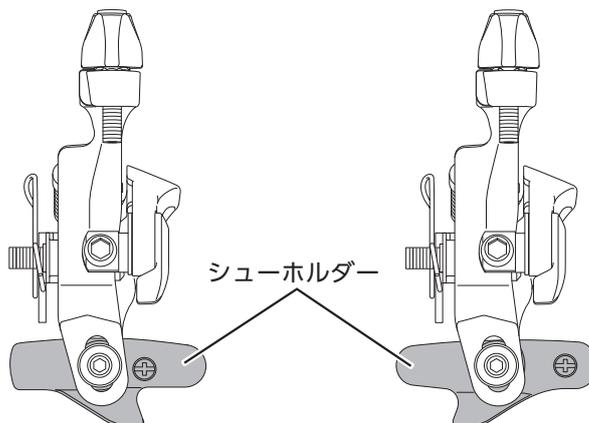


「NO!」のマークは、使用すべきでない組合わせを示しています。

- BR-9010/6810/5810/5710のリアブレーキにはケーブル調整ナットおよびクイックリリースレバーがありませんので、必ずSM-CB90をご使用ください。ブレーキシューが磨耗した時に手でシュークリアランスの調整ができなくなります。
 - キャリパーブレーキの取付ナットは、指定の締付けトルクでしっかりと締付けてください。
 - ナットタイプのブレーキには、ナイロンインサートロックナット（緩み止めナット）を使用してください。
 - 沈頭ナットタイプのブレーキには、ナットが6回転以上かみ合う適切な長さの沈頭ナットを使用し、再組立の時には、ネジ部に封着剤（緩み止め接着剤）を使用してください。
- 取付ナットが緩んでブレーキが外れると、車輪にかみ込んで転倒することがあります。特に前車輪の場合は、突然前方に放り出されて大怪我をすることがあります。
- 後用のブレーキを前ブレーキにはご使用できません。
 - BR-9010/6810/5810/5710のシューホルダーには必ず専用のブレーキシュー（R55C4 / R55C4(カーボンリム用) / R55C4-1(カーボンリム用)）をご使用ください。従来のブレーキシュー（R55C3/R55C3(カーボンリム用) / R55C2/R55C(カーボンリム用) / R55C(セラミックリム用) / R55C+1）はシュー固定位置が異なり固定ボルトを締付けることができないため、ブレーキシューが外れ、ブレーキが効かなくなります。

< BR-9010-RS / 6810-RS / 5810-RS >

- BR-9010-RS/6810-RS/5810-RSは後用のブレーキです。前ブレーキにはご使用できません。
BR-9010-F/6810-F/5810-F (前ブレーキ) とBR-9010-RS/6810-RS/5810-RSではシューホルダーおよび内部部品が異なります。



< BR-9010-F/6810-F/5810-F > < BR-9010-RS/6810-RS/5810-RS >

< BC-9000 / R680 >

BC-9000/R680 (ポリマーコーティングブレーキケーブル) は摩擦抵抗が小さくなるように設計されていますので、下記の事項に必ず従ってください。従わない場合はブレーキケーブルの固定力が不足し、ブレーキケーブルが緩んでブレーキ操作ができなくなり重傷を負う可能性があります。

- 必ずBR-9000/6800/5800/RS500シリーズのブレーキに組合わせてご使用ください。
- BC-9000/BC-R680には、専用のケーブルグリス (Y04180000) をご使用ください。
- インナーケーブルをアウターケーシングに通す際インナーケーブル固定部にグリスが付着する可能性があるため、そのグリスを必ず布などで拭き取ってからインナーケーブルを固定してください。

使用上の注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- カーボン製レバーはやわらかい布を使って必ず中性洗剤で洗ってください。さもないと素材にダメージを与えて強度が落ちる可能性があります。
- カーボン製レバーを高温な場所に放置したままにすることを避けてください。また火に近づけないでください。
- 当社ロード用のブレーキシューをセラミックリムに組合わせた場合、ブレーキシューの摩耗が早くなります。
- ブレーキシューの溝がなくなるまで摩耗した時には販売店または代理店へご相談ください。
- ブレーキシューにはそれぞれ特性があります。ブレーキシュー購入時に販売店または代理店へご相談ください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。

手順の説明を主体としていますので、製品イメージが異なる場合があります。

取付け

使用工具一覧

製品の組立には下記の工具が必要です。

ブレーキキャリパー

使用箇所	工具
ブレーキ固定ボルト	5 mm六角レンチ (BR-9000/6800/5800/RS500)
	4 mm六角レンチ (BR-9010/6810/5810/5710)
シュー固定ボルト	4 mm六角レンチ
ケーブル固定ボルト	5 mm六角レンチ
センタリング調整ボルト	3 mm六角レンチ (BR-9000/6800/5800/RS500)
	2 mm六角レンチ (BR-9010/6810/5810/5710)
スプリング調整ボルト	2 mm六角レンチ (BR-9000/9010*/6800)

*BR-9010は、-F、-Rのみ。
(BR-9010-RSはスプリング調整ができません。)

ブレーキケーブル

使用箇所	工具
ケーブルカッター	TL-CT12

デュアルコントロールレバー

使用箇所	工具
クランプボルト	5 mm六角レンチ

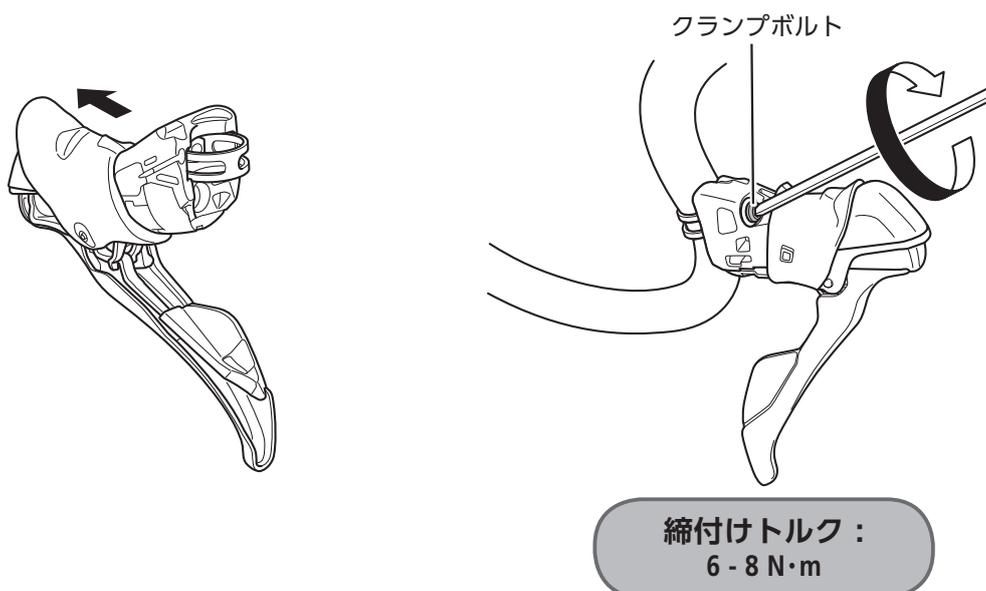
推奨締付けトルクにおいても、カーボンハンドルの場合には、ハンドルへの損傷ならびに固定不十分となる可能性があります。適切なトルク値に関しては、完成車メーカーまたはハンドルメーカーでご確認ください。

ST-9000 / 6800 / 5800 / 5700

■ ハンドルバーへの取付け

< ST-9000 / 6800 / 5800 >

- ブラケットカバーを後ろ側からめくり、ブラケット部上側のクランプボルトを 5 mm六角レンチで締付けます。

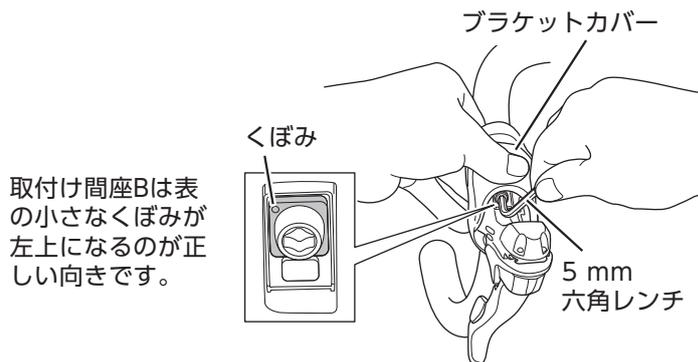


使用上の注意：

ST-9000/6800/5800のクランプバンド、クランプボルト、クランプナットは他の製品との互換性がありません。他の製品で使われている部品と組合わせて使用しないでください。

< ST-5700 >

ブラケットカバーを前側からまくり5 mm六角レンチで取付けナットを締付けて固定します。



締付けトルク：
6 - 8 N・m

■ ブレーキケーブルの取付け

ブレーキケーブルは製品に適した潤滑剤を使い適切な潤滑状態で出荷されています。

⚠ 警告

アウターケーシングに通す際インナーケーブル固定部に付着したグリスは、必ず布などで拭き取ってから固定してください。固定部にグリスが付着していると、ブレーキケーブルの固定力が不足し、ブレーキケーブルが緩んでブレーキ操作ができなくなり重傷を負う可能性があります。

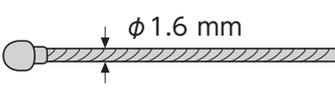
使用上の注意：

BC-9000/R680のインナーケーブルがシフティングレバーやキャリパーブレーキの金属部（アジャスト部分）などに触れないようにしてください。インナーケーブル組付け時に被覆が傷付くと毛羽立つ可能性があります。機能に影響はありません。

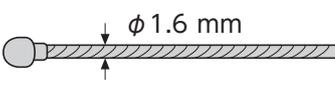
ケーブルはハンドルをいっぱい操舵しても余裕のある長さでご使用ください。

使用ケーブル

< ST-9000 / 6800 / 5800 >

BC-9000/BC-R680 インナーケーブル	アウターケーシング
	

< ST-5700 >

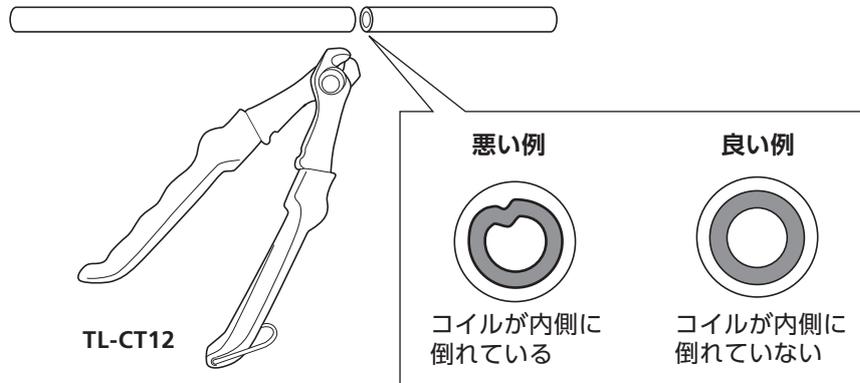
BC-1051 インナーケーブル	SLRアウターケーシング
	

アウターケーシングの切断

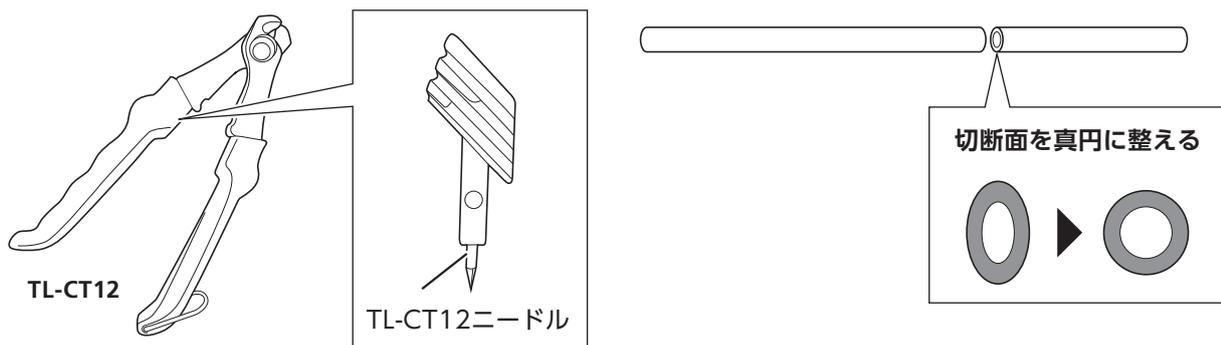
使用上の注意：

- ケーブルはハンドルをいっぱいにも操舵しても余裕のある長さでご使用ください。
- TL-CT12ニードルの部分で手を傷つけないようにしてください。

1. ケーブルカッター (TL-CT12) などを使用し、コイルが内側に倒れないように切断してください。



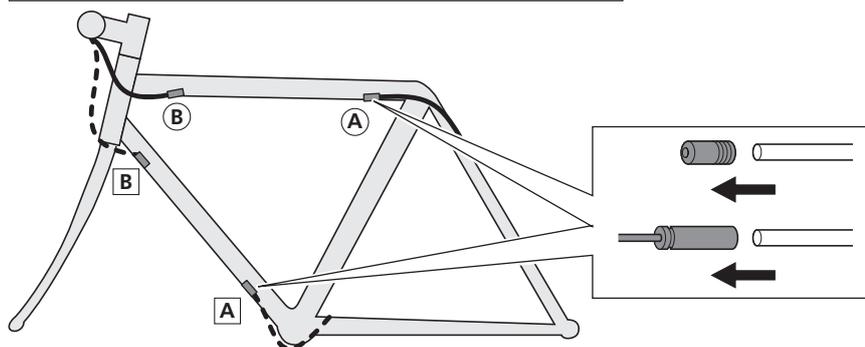
2. 切断後、ライナーの先端 (φ2.2以上) をTL-CT12など、細いもので広げてください。



リアブレーキケーブル / ノーズ付アウターキャップ取付位置

- 図の位置(A, B) / [A], [B] にノーズ付アウターキャップを取付けてください。

— BR-9000 / 6800 / 5800 / RS500 / 9010-RS / 6810-RS
 --- BR-9010 / 6810 / 5810 / 5710

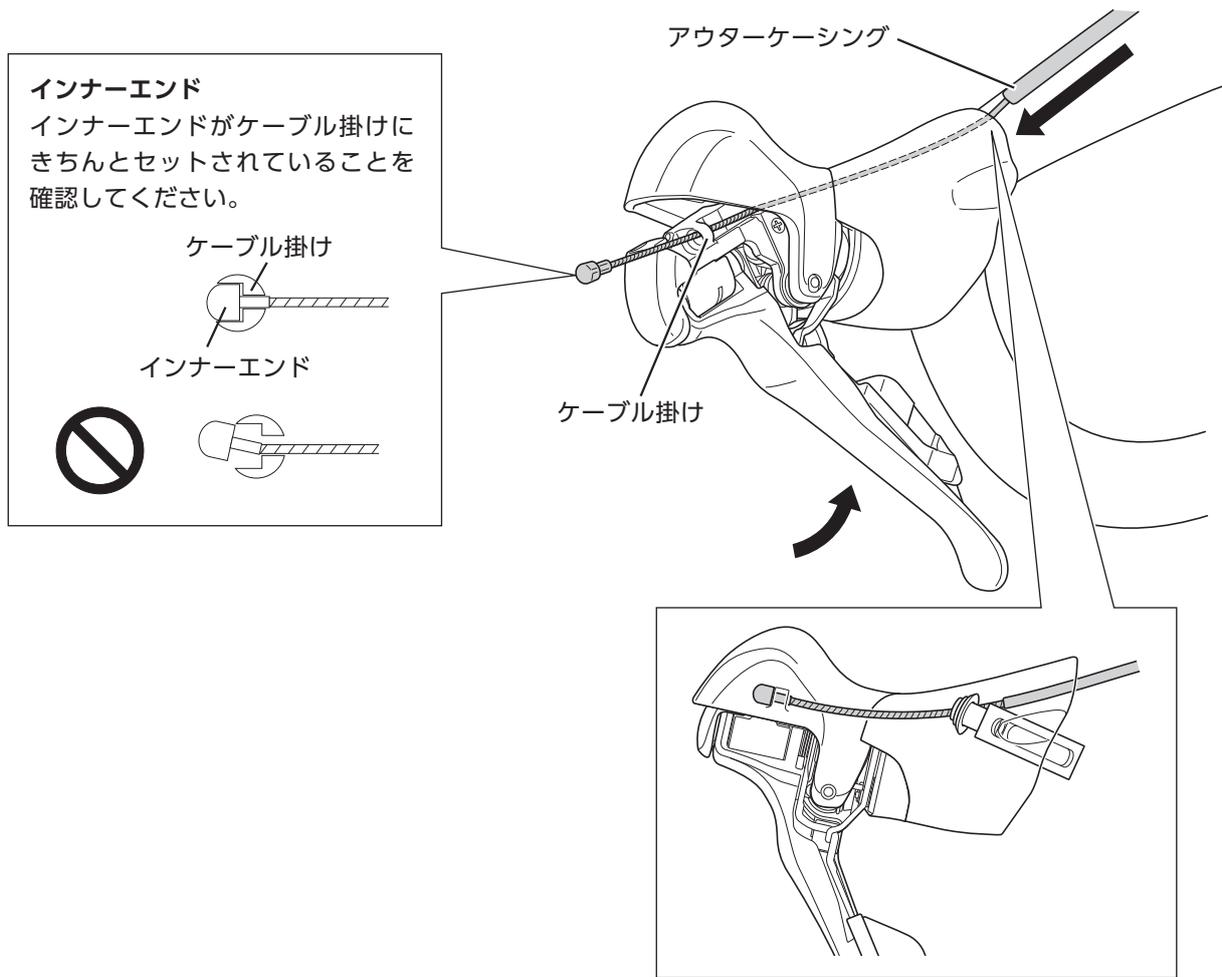


使用上の注意：

BC-1051インナーケーブルを使用する場合は、ノーズ付アウターキャップではなく、通常のアウターキャップを使用して下さい。

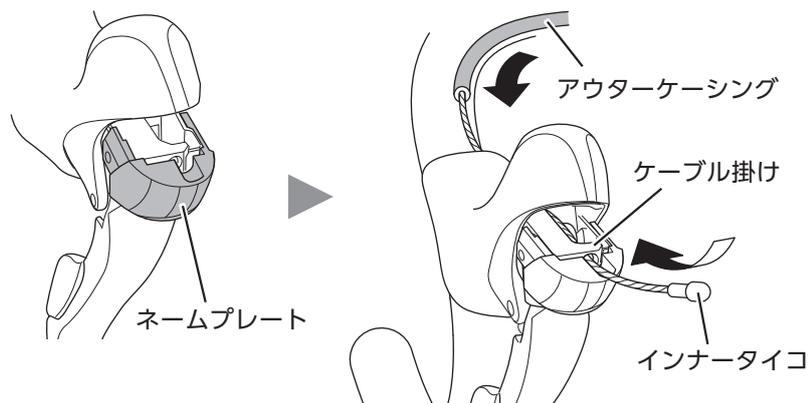
< ST-9000 / 6800 / 5800 >

ブレーキ操作方向にレバーをストロークさせ、ブレーキケーブルを通します。

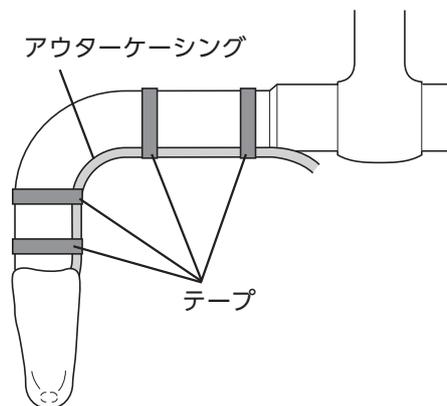


< ST-5700 >

図のようにインナーケーブルを通し、インナータイコをケーブル掛けにセットします。



アウターケーシングを、テープなどでハンドルバーに仮止めをします。

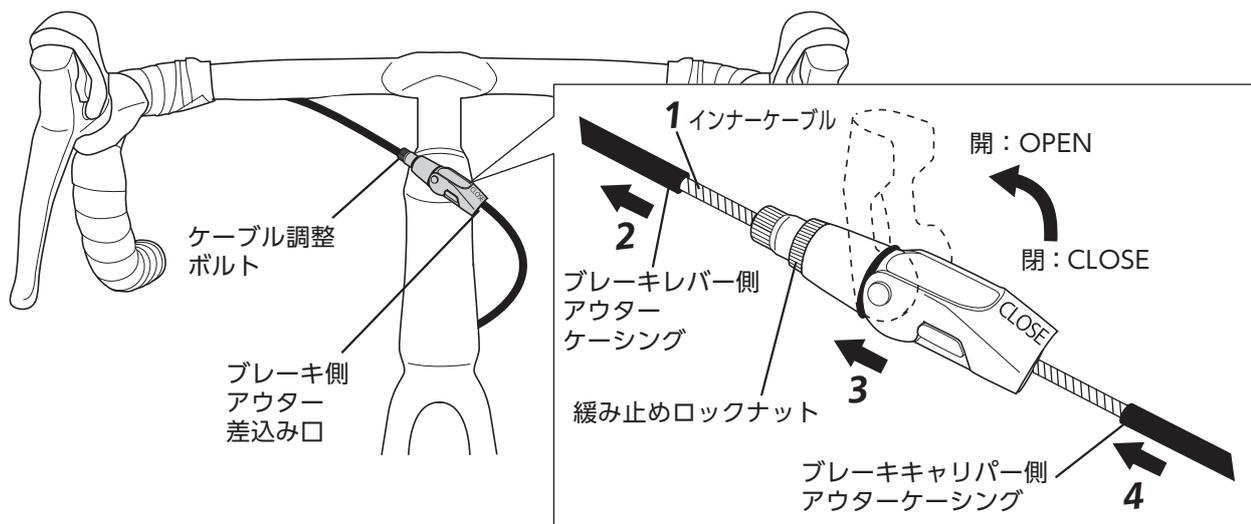


警告

BR-9010/6810/5810/5710リアブレーキにはケーブル調整ナットおよびクイックリリースレバーがありませんので、必ずSM-CB90 (ケーブルアジャスター) をご使用ください。ブレーキシューが磨耗した時に手でシュークリアランスの調整ができなくなります。

■ SM-CB90取付け方法

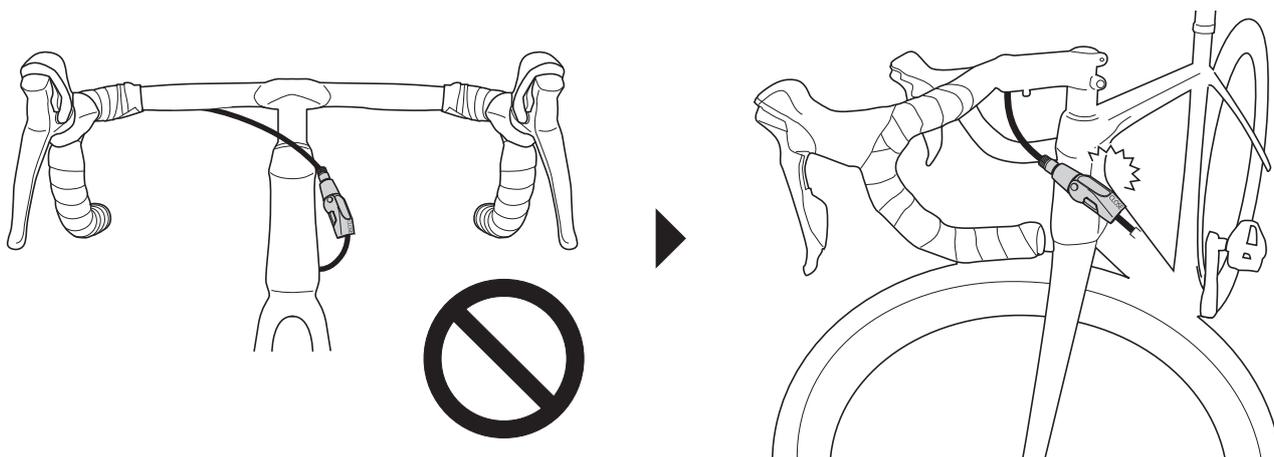
図の位置に取付けてください。



使用上の注意：

ハンドルを操作した際にトップチューブなどに巻付く場所へは取付けないこと。

間違ったセッティング



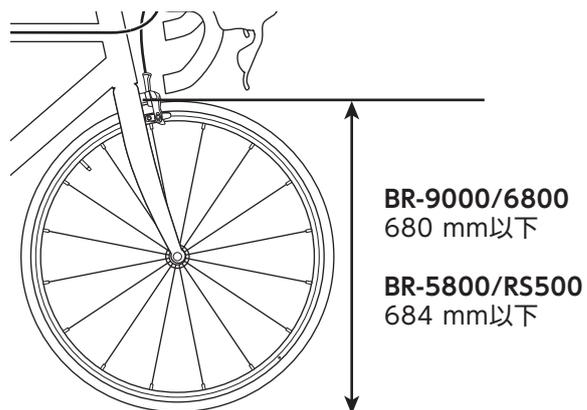
BR-9000 / 6800 / 5800 / RS500 / 9010 / 6810 / 5810 / 5710

■ ブレーキキャリパーの取付け

< BR-9000 / 6800 / 5800 / RS500 >

推奨タイヤサイズ / リム幅

使用可能タイヤサイズ	太さ		タイヤ外径
	BR-9000/6800	φ 25 mm以下	φ 680 mm以下
BR-5800/RS500	φ 28 mm以下	φ 684 mm以下	

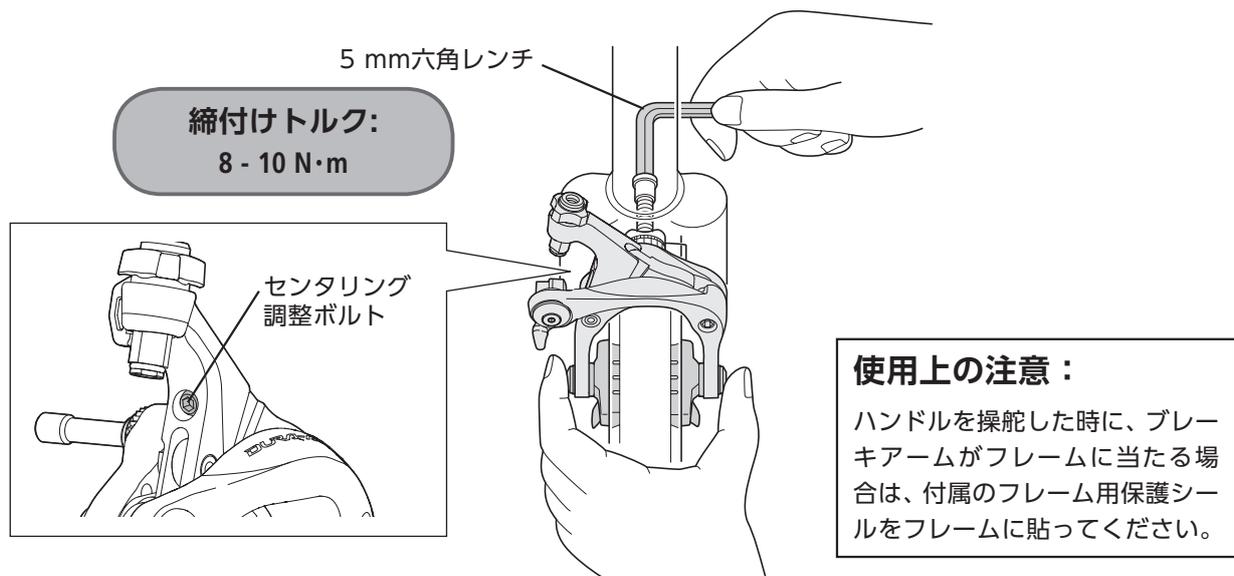


	キャリパーブレーキ	リム	リム幅	備考
使用可能リム幅	BR-9000/6800/ 5800/RS500	アルミリム	19.6 ~ 24 mm	
		カーボンリム	19.6 ~ 24 mm	
			24 ~ 28 mm	R55C4-1(カーボンリム用)をご使用下さい

使用上の注意：

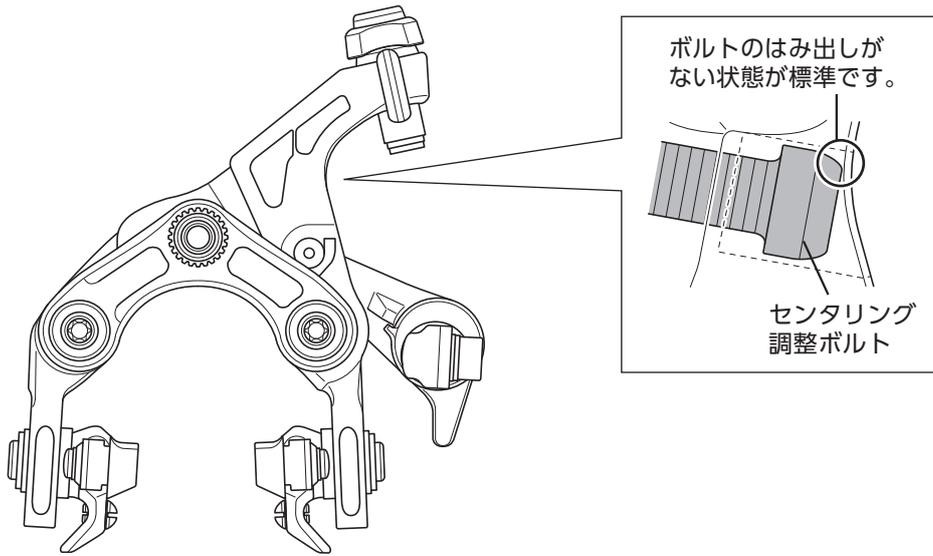
リム幅24 ~ 28 mmカーボンリムには、R55C4-1(カーボンリム用)をご使用下さい。
前用のブレーキを後ブレーキ、後用のブレーキを前ブレーキに取付けることはできません。

アーチを握り、シューを強くリムに当てた状態でセットしてください。

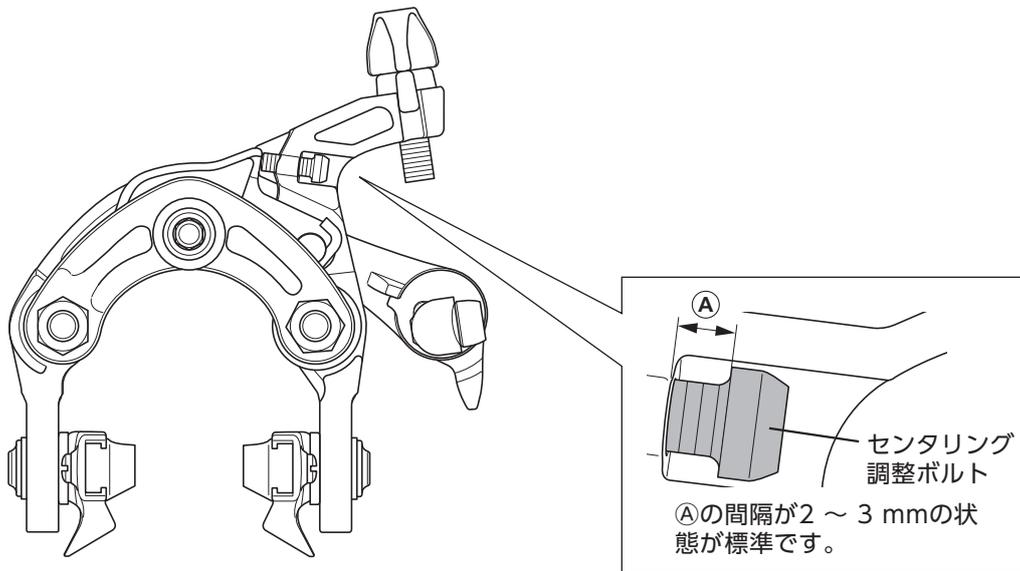


センタリング調整ボルトの標準となる調整位置は、下図に示す位置です。

< BR-9000 / 6800の場合 >



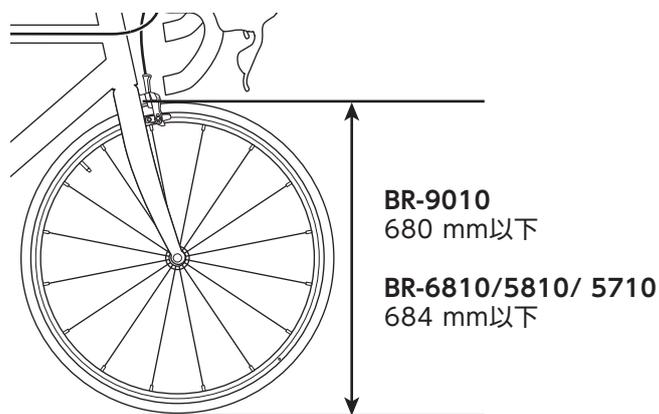
< BR-5800 / RS500の場合 >



< BR-9010 / 6810 / 5810 / 5710 >

推奨タイヤサイズ / リム幅

使用可能タイヤサイズ		太さ	タイヤ外径
	BR-9010	φ 25 mm以下	φ 680 mm以下
BR-6810/5810/ 5710	φ 28 mm以下	φ 684 mm以下	



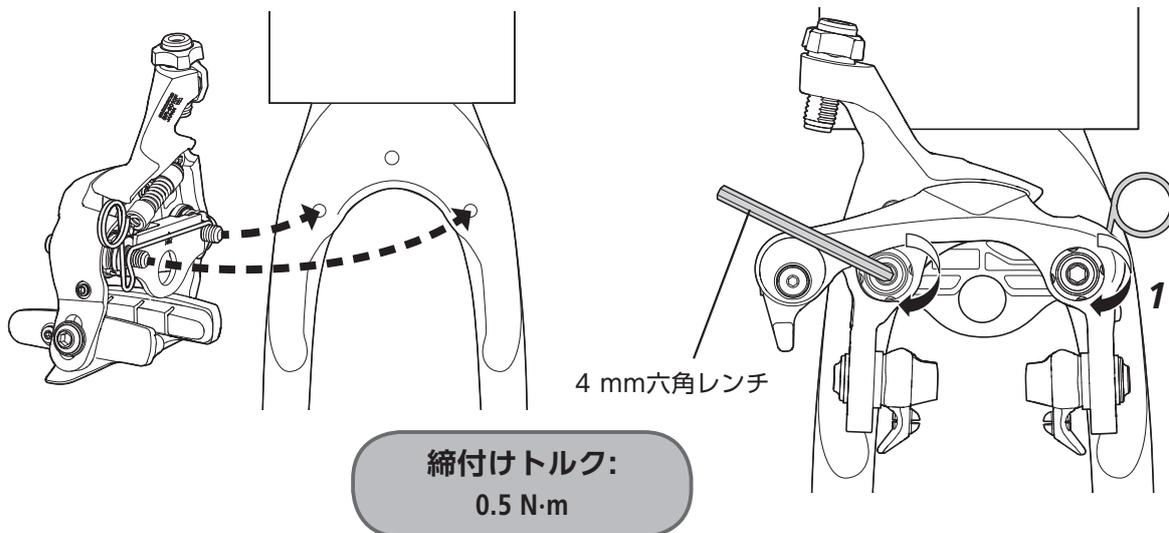
	キャリパーブレーキ	リム	リム幅	備考
使用可能リム幅	BR-9010/6810/ 5810/5710	アルミリム	21 ~ 24 mm	
		カーボンリム	21 ~ 24 mm	
			24 ~ 28 mm	R55C4-1(カーボンリム用)をご使用 下さい

使用上の注意：

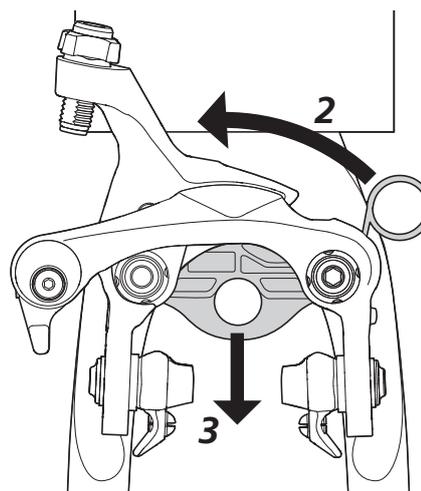
取付け作業が終わるまで組付け治具を取外さないでください。ブレーキキャリパーに傷が付く可能性があります。

フロント

1. 組付け治具ごとフレーム台座へ仮固定します。



- 2, 3. 組付け治具を矢印の方向へ引き抜きます。



4. ブレーキ固定ボルトを本締めします。

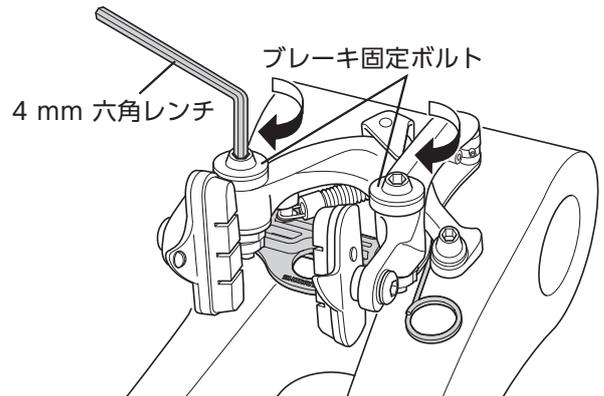
締付けトルク:
5 - 7 N·m

5. 最後に傷つき防止シートを取外します。

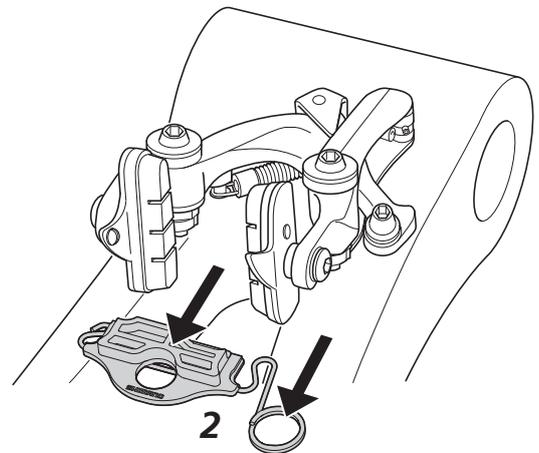
< BR-9000 / 6800 / 5800 / RS500 / 9010 / 6810 >

1. 組付け治具ごとフレーム台座へ仮固定します。

締付けトルク：
0.5 N・m



2. 組付け治具を矢印の方向へ引き抜きます。



3. ブレーキ固定ボルトを本締めします。

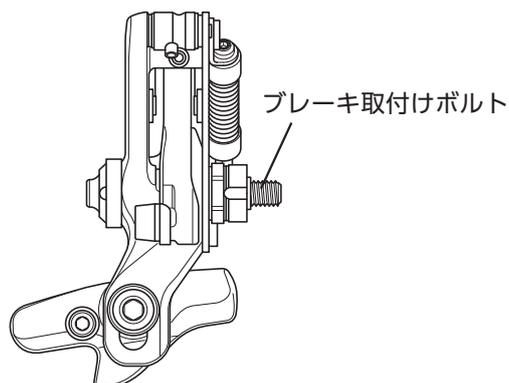
締付けトルク：
5 - 7 N・m

4. 最後に傷つき防止シートを取外します。

フレームへのキャリパーブレーキ取付け時の注意：

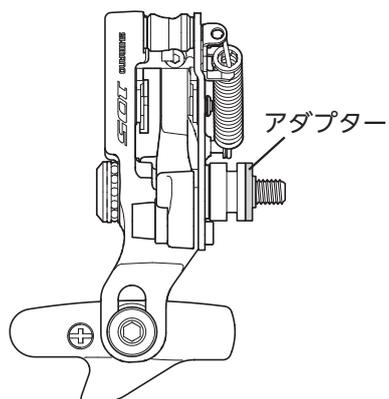
< BR-9010 / 6810 >

- ブレーキ取付けボルトの長さが9.2 mm、7.5 mmの2種類のタイプがあります。フレームにキャリパーブレーキ取付けの際は、フレームのねじ穴深さに合わせタイプをお選びください。

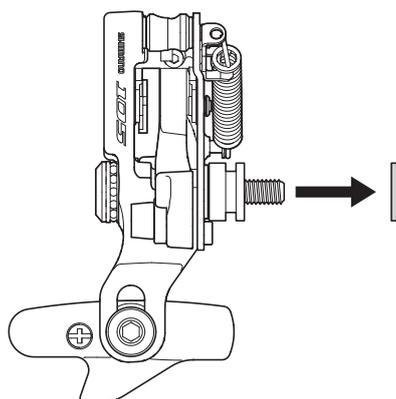


< BR-5810 / 5710 >

- ねじ穴深さが9.2 mm以上のフレームにキャリパーブレーキを取付ける場合は、アダプターを取外してください。
- ねじ穴深さが9.2 mm未満のフレームにキャリパーブレーキを取付ける場合は、アダプターが必要です。

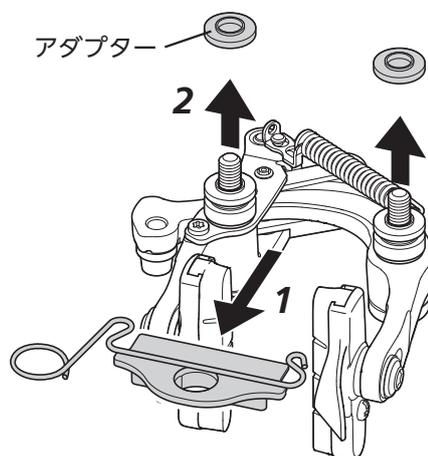


フレームのねじ穴深さが9.2 mm未満の場合
(フレームのネジ材質がステンレスの場合等)

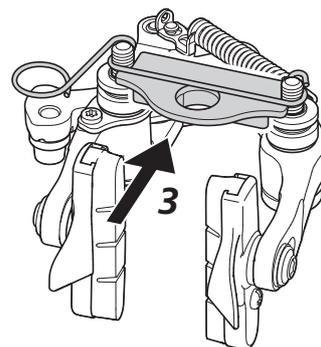


フレームのねじ穴深さが9.2 mm以上の場合
(フレームのネジ材質がアルミの場合等)

1. 組付け治具を取外します。
2. アダプターを取外します。

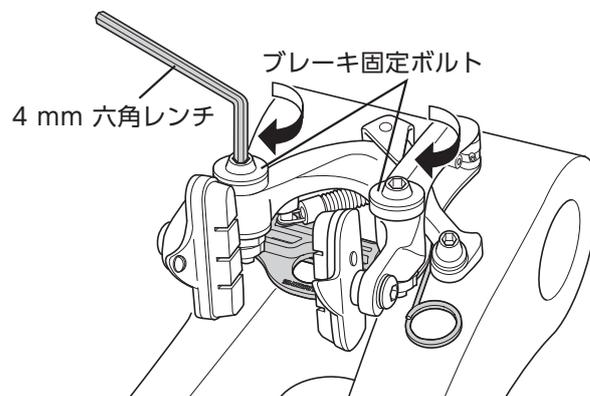


3. 組付け治具を元通りに取付けます。

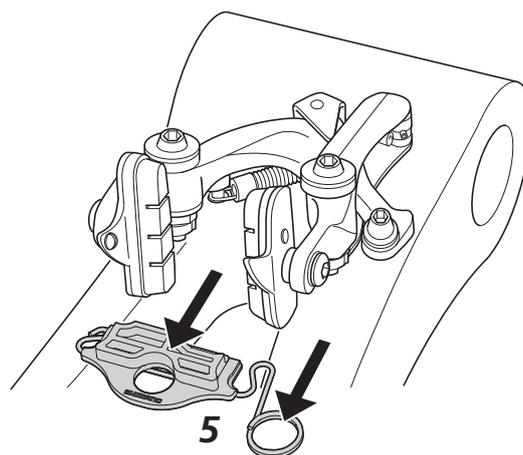


4. 組付け治具ごとフレーム台座へ仮固定します。

締付けトルク：
0.5 N・m



5. 組付け治具を矢印の方向へ引き抜きます。



6. ブレーキ固定ボルトを本締めします。

締付けトルク：
5 - 7 N・m

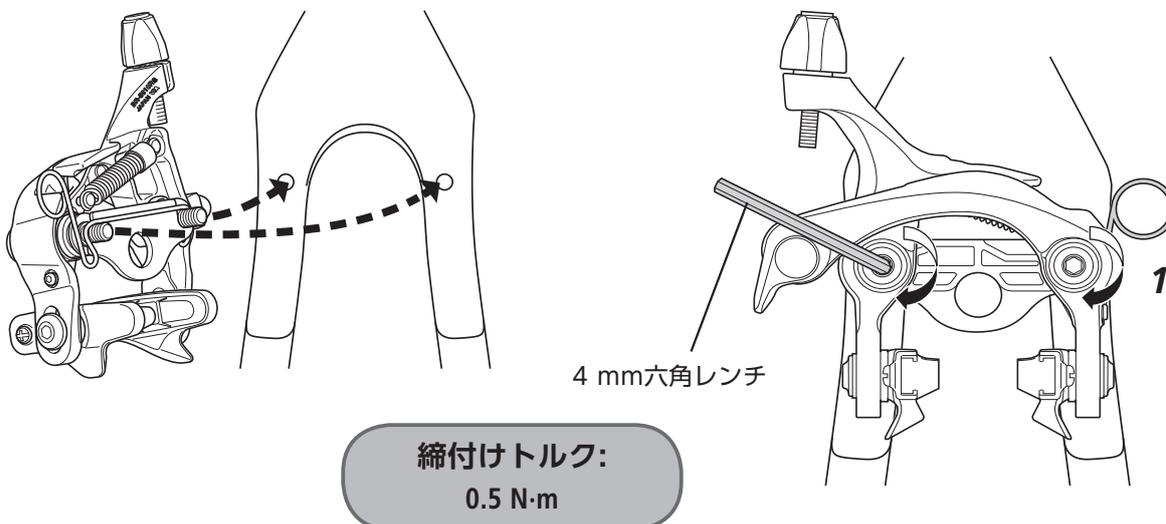
7. 最後に傷つき防止シートを取外します。

< BR-9010-RS / 6810-RS / 5810-RS >

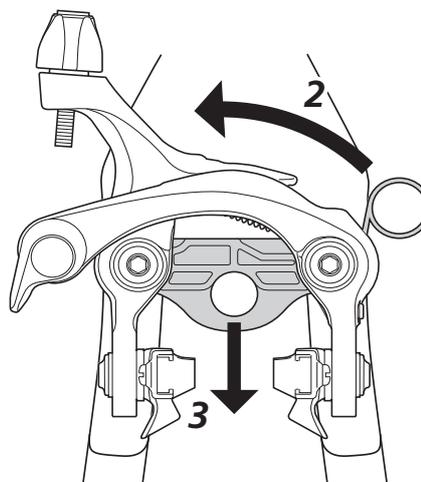
使用上の注意：

BR-9010-RS/6810-RS/5810-RSは後用のブレーキです。前ブレーキにはご使用できません。

1. 組付け治具ごとフレーム台座へ仮固定します。



- 2, 3. 組付け治具を矢印の方向へ引き抜きます。



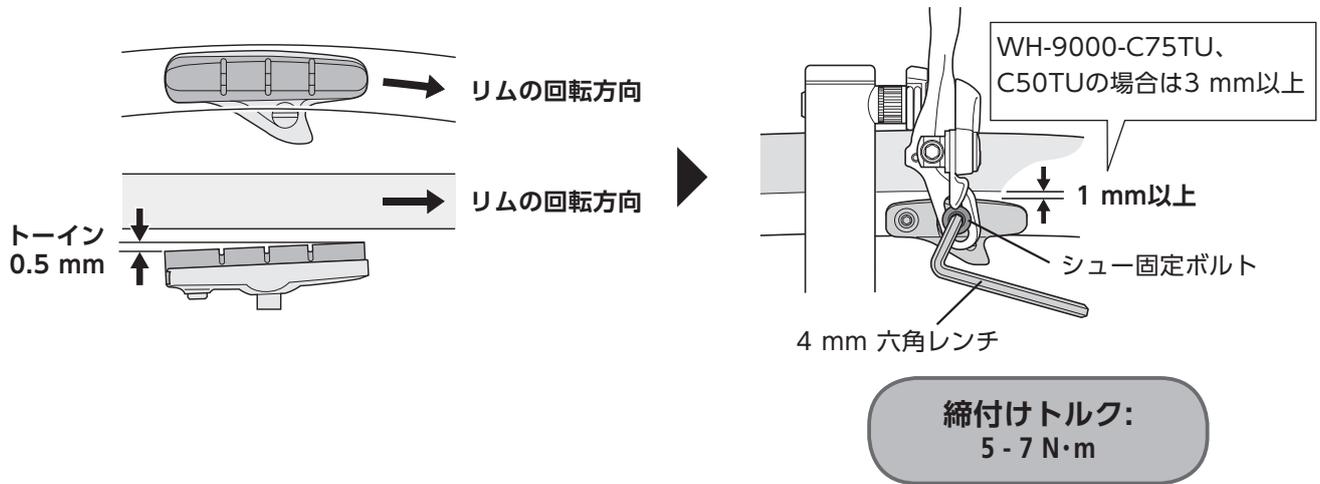
4. ブレーキ固定ボルトを本締めします。

締付けトルク：
5 - 7 N·m

5. 最後に傷つき防止シートを取外します。

■ ブレーキシューのセット位置

- シューのリムに対する当り角度(トーイン)が調整できるようになっています。トーインをつけることにより、スムーズなブレーキ操作が可能になります。
- シュー面とリム面が図のようになるよう調整した後、シュー固定ボルトを締付けます。



■ BC-9000 / R680ケーブルの固定



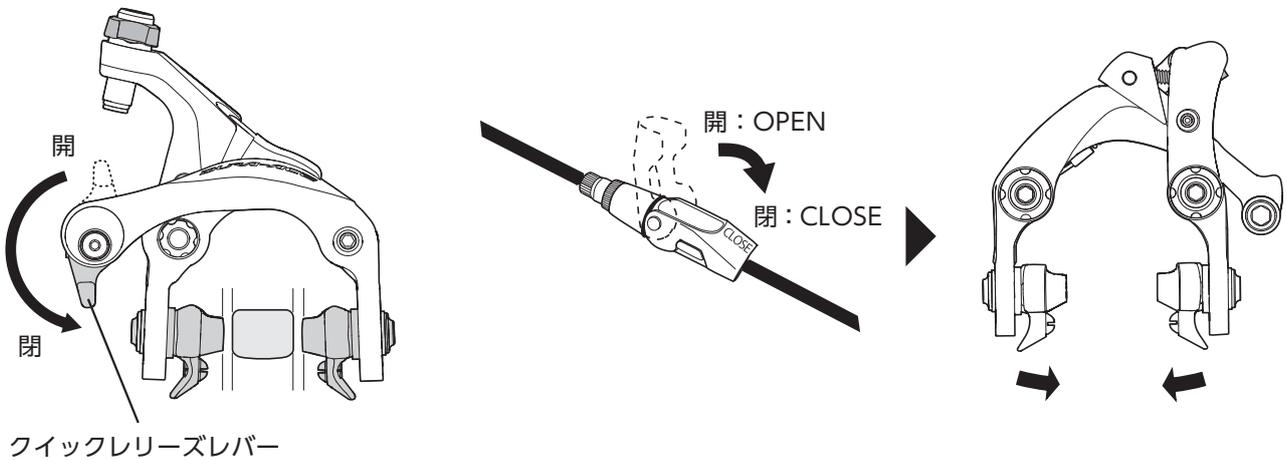
アウターケーシングに通す際インナーケーブル固定部に付着したグリスは、必ず布などで拭き取ってから固定してください。固定部にグリスが付着していると、ブレーキケーブルの固定力が不足し、ブレーキケーブルが緩んでブレーキ操作ができなくなり重傷を負う可能性があります。

使用上の注意：

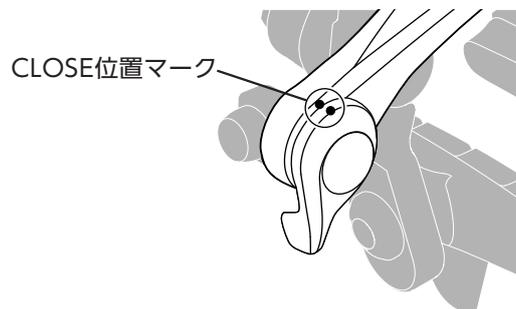
BC-9000/R680ケーブルがシフティングレバーやキャリパーブレーキの金属部（アジャスト部分）などに触れないようにしてください。インナーケーブル組付け時に被覆が傷付くと毛羽立つ可能性がありますが機能に影響はありません。

1. クイックリリースレバーを“CLOSE”の位置にします。

< BR-9010-R / 6810-R / 5810-R / 5710-R >

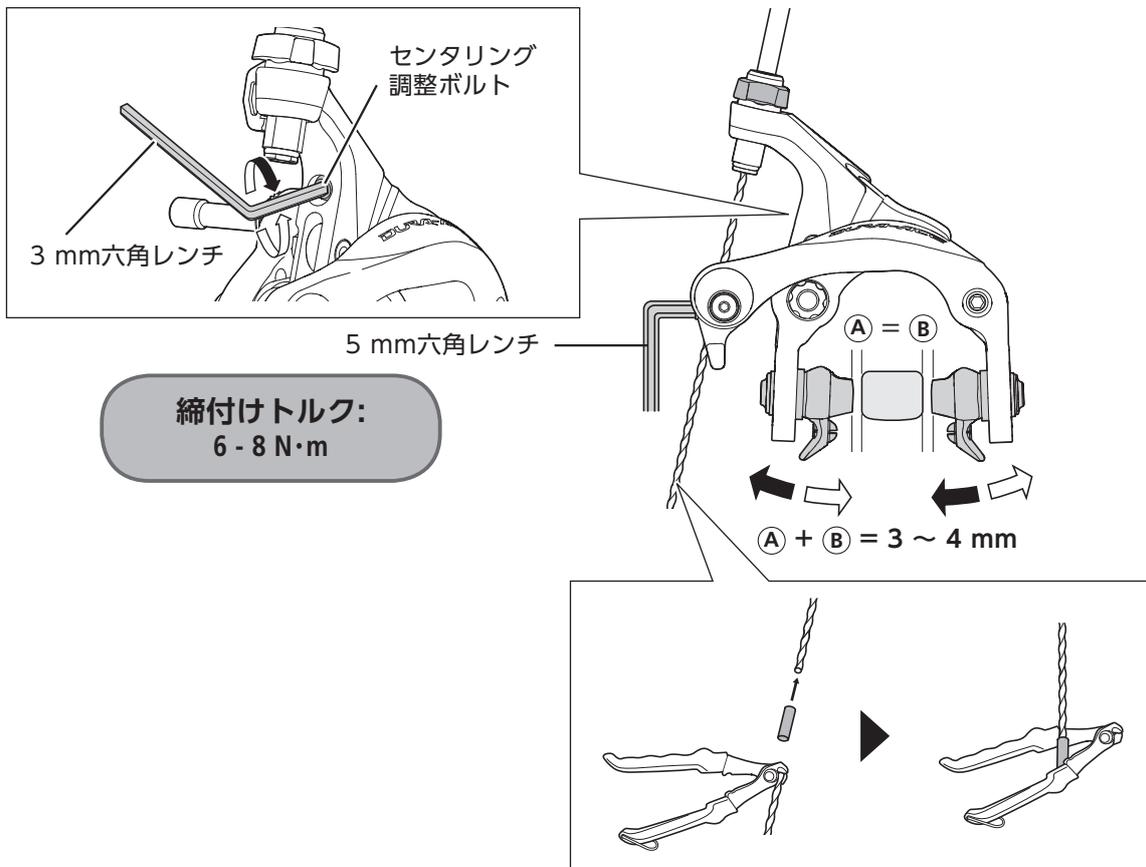


クイックリリースレバーと本体側にCLOSE位置マークがついているモデルの場合は、それぞれのマーク位置を合わせてください。この時、クリック感があることを確認してください。

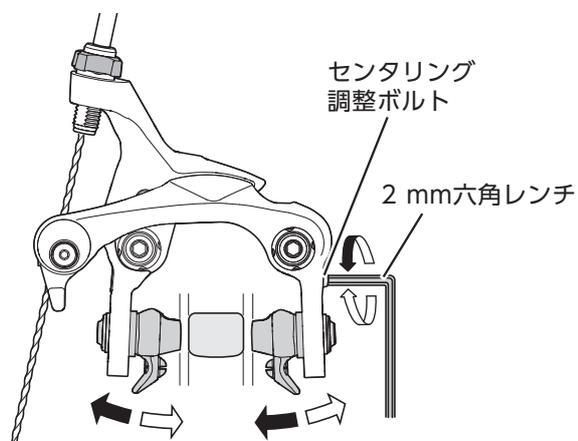


2. インナーケーブルの固定部分に付着しているグリスなどの潤滑剤を拭き取ります。
 その後シュークリアランスを調整しながらインナーケーブルを固定し、余ったインナーケーブルを切断します。
 最後にインナーエンドキャップを取付けてください。

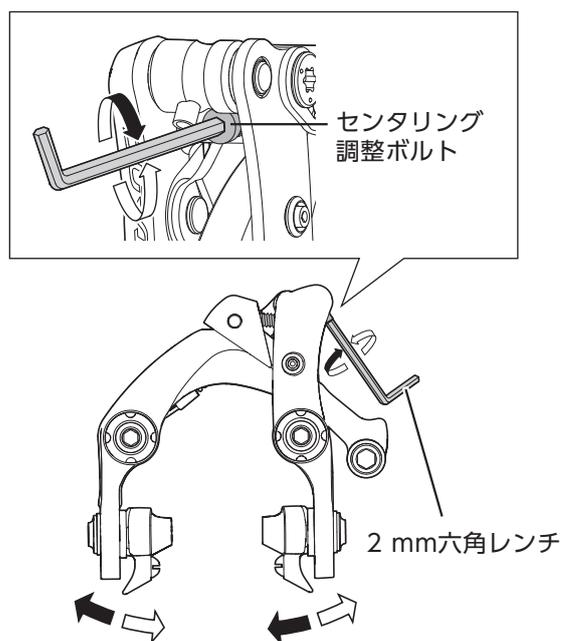
< BR-9000 / 6800 / 5800 / RS500 >



< BR-9010-F/6810-F/5810-F/5710-F
 およびBR-9010-RS/6810-RS/5810-RS>

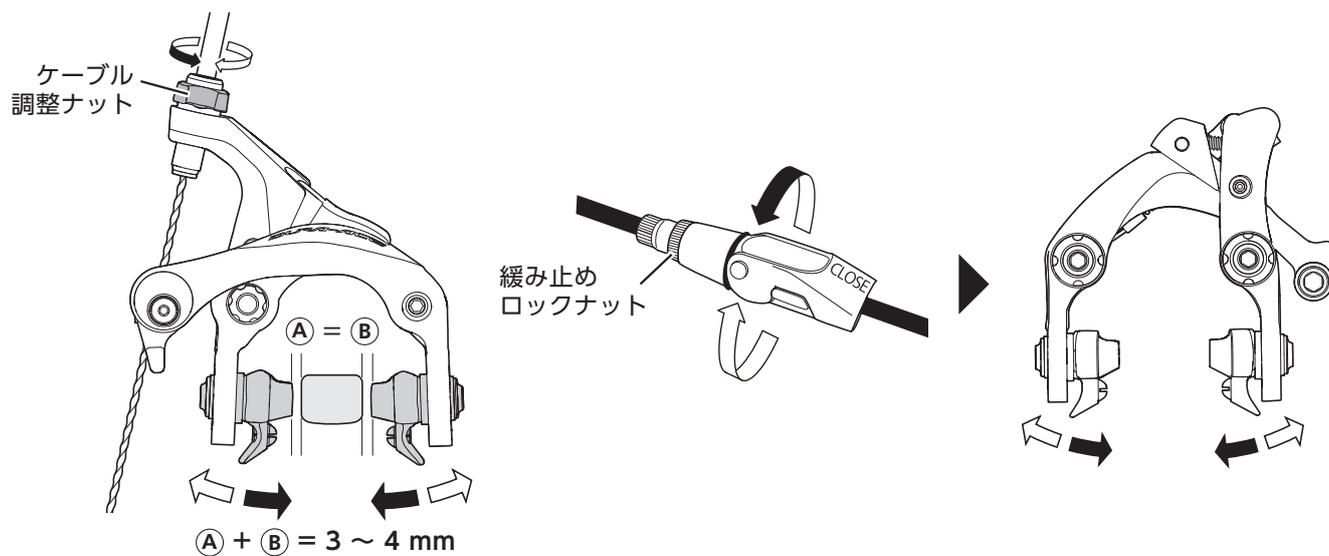


< BR-9010-R/6810-R/5810-R/5710-R >

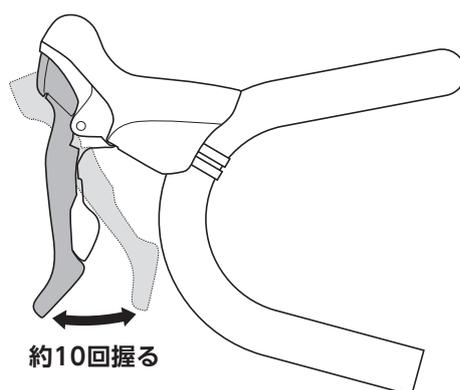


3. ケーブル調整ナットを回し、シュークリアランスの再調整を行います。

< BR-9010-R / 6810-R / 5810-R / 5710-R >



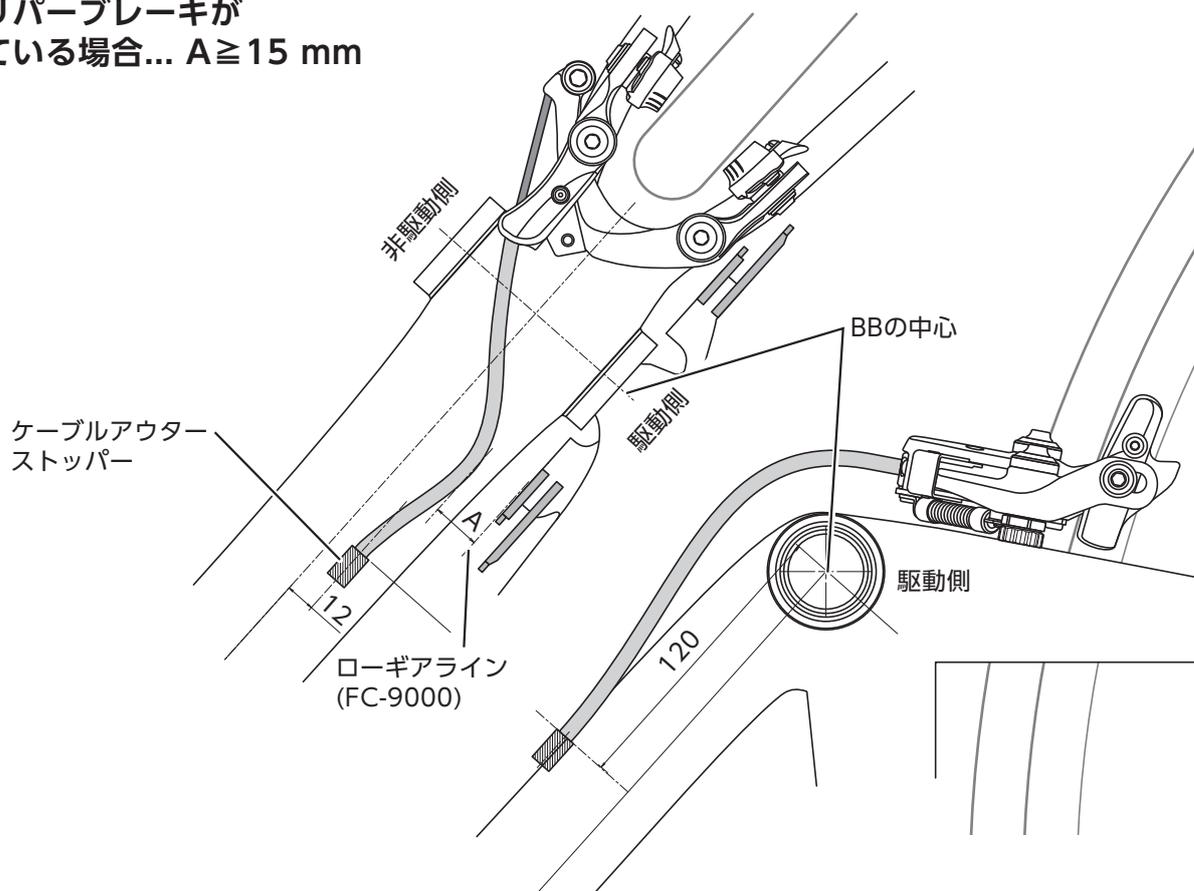
4. ブレーキレバーをグリップに付くまで約10回ほど握り、各部に異常がないことと、シュークリアランスを再確認してからご使用ください。



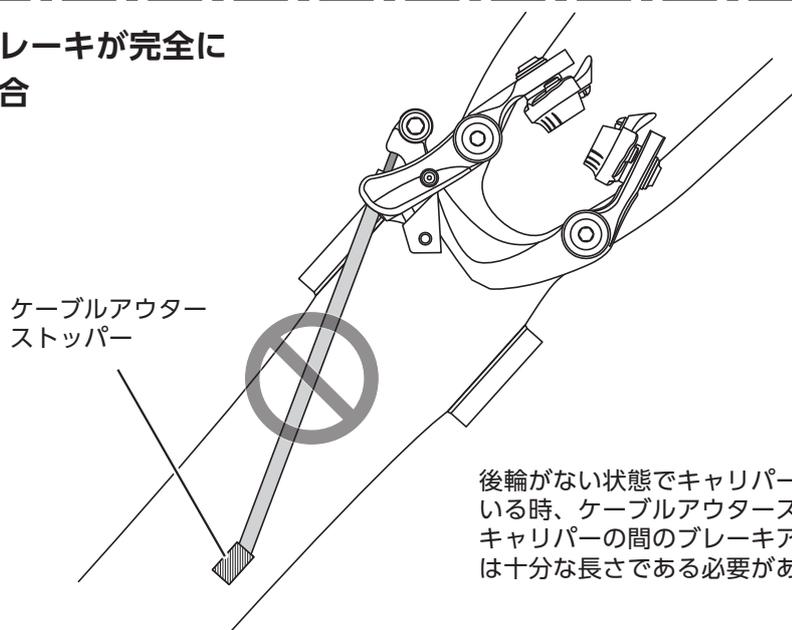
使用上の注意：

BR-9010-R/6810-R/5810-R/5710-R用のケーブルアウターストッパー位置と適切なアウターケーシングの長さ

**キャリパーブレーキが
開いている場合... $A \geq 15 \text{ mm}$**



**キャリパーブレーキが完全に
閉じている場合**



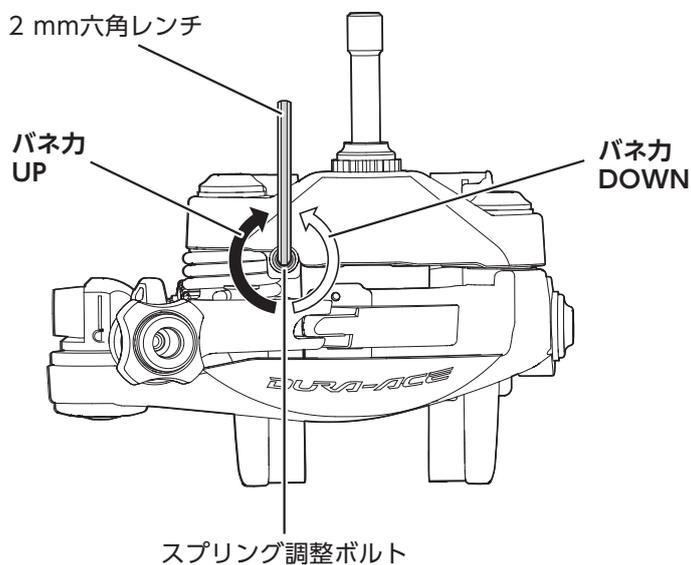
後輪がない状態でキャリパーが完全に閉じている時、ケーブルアウターストッパーとキャリパーの間のブレーキアウターケーシングは十分な長さである必要があります。

調整

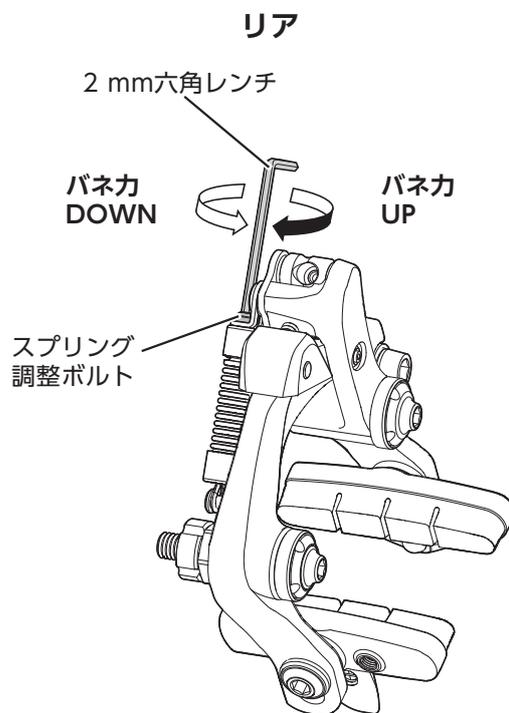
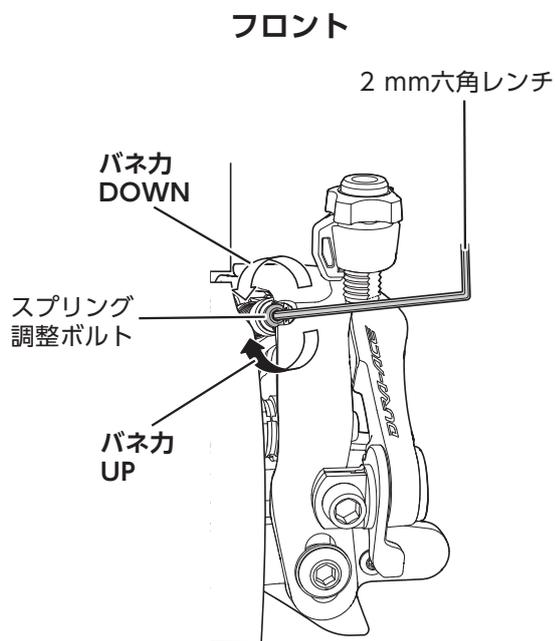
■ アーチのバネ力調整

スプリング調整ボルトで、アーチのバネ力調整ができます。

< BR-9000 / 6800 >



< BR-9010 >



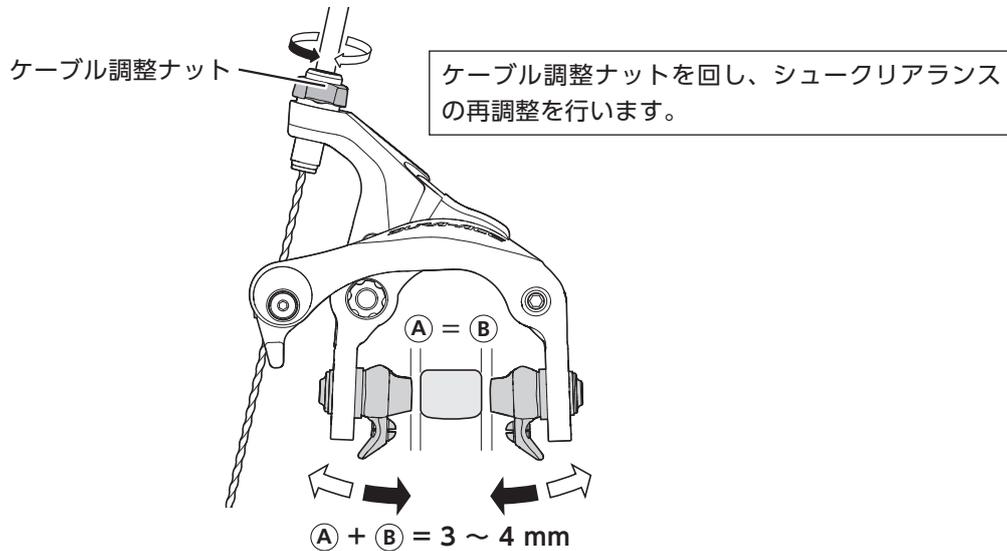
使用上の注意：

BR-9010-RSは、アーチのバネ力調整ができません。

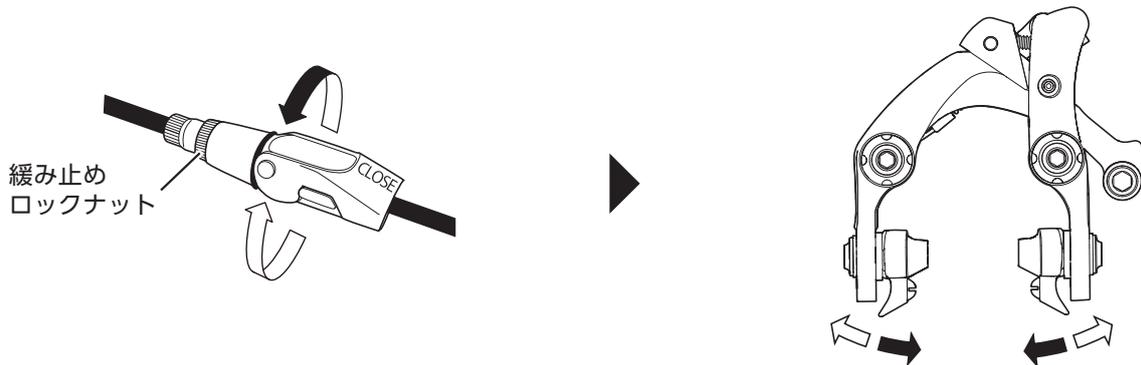
■ シュークリアランスの再調整 (ブレーキシューの磨耗時)

ブレーキシューが磨耗するとリムとのクリアランスが広がります。

- ケーブル調整ナットでケーブルの張り調整を行ってください。
- ブレーキシューの溝がなくなった場合は交換してください。



< BR-9010-R/6810-R/5810-R/5710-R >



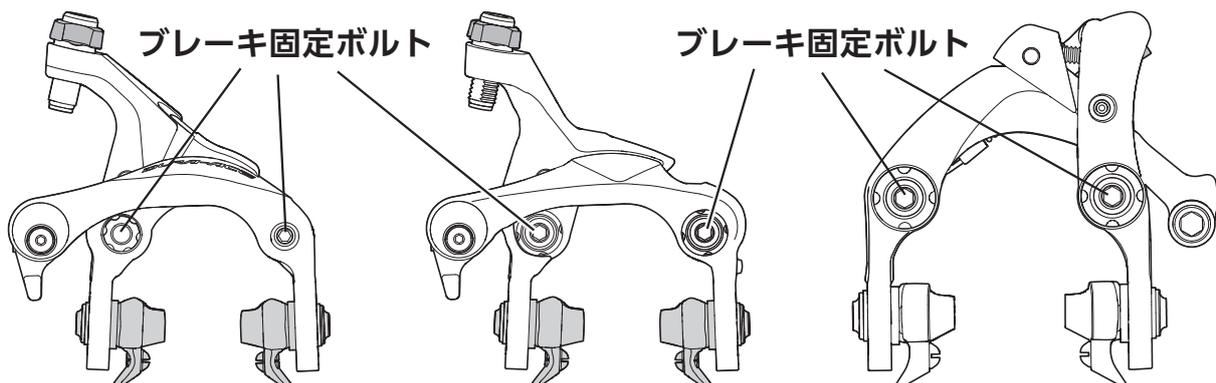
使用上の注意：

ブレーキ固定ボルトの調整でブレーキアーム自体のがた調整はできません。

< BR-9000/6800/
5800/RS500 >

< BR-9010-F/6810-F/5810-F/
5710-F およびBR-9010-RS/
6810-RS/5810-RS >

< BR-9010-R/6810-R/
5810-R/5710-R >



< BR-6810-R / 5810-R / 5710-R >

ブレーキレバーの戻りが悪い際にバネの固定位置を変更して調整します。
作業の際はフレームからブレーキキャリパーを取外して行います。

治具を使用する場合

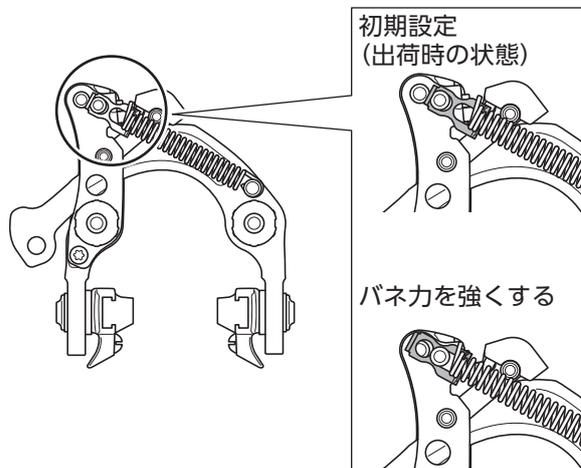
組付け治具 (Y8L398040) を使用するとバネの掛け替えがしやすくなります。

1. ブレーキキャリパーをフレームから取外します。

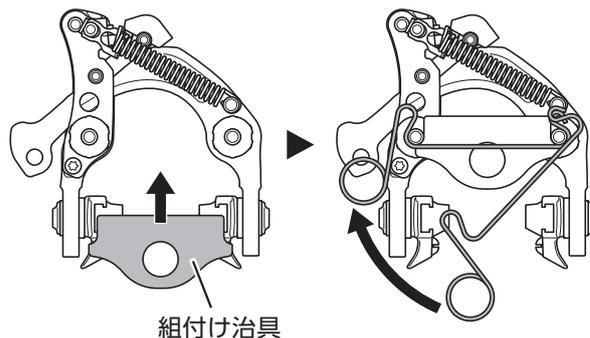
使用上の注意：

ブレーキキャリパーをフレームから取外す場合、バネのテンションが架かっているため、跳ね返りなどに気を付けてください。

2. バネの位置を掛け替えます。



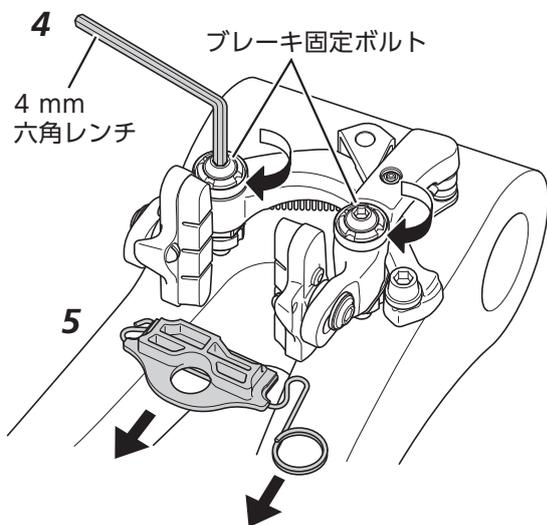
3. ブレーキキャリパーに組付け治具を取付けます。



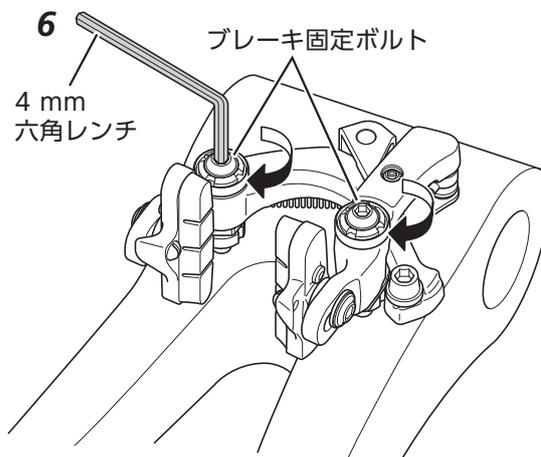
4. 組付け治具ごとフレーム台座へ仮固定します。

5. 組付け治具を矢印の方向へ引き抜きます。

6. ブレーキ固定ボルトを本締めします。



締付けトルク:
0.5 N·m



締付けトルク:
5 - 7 N·m

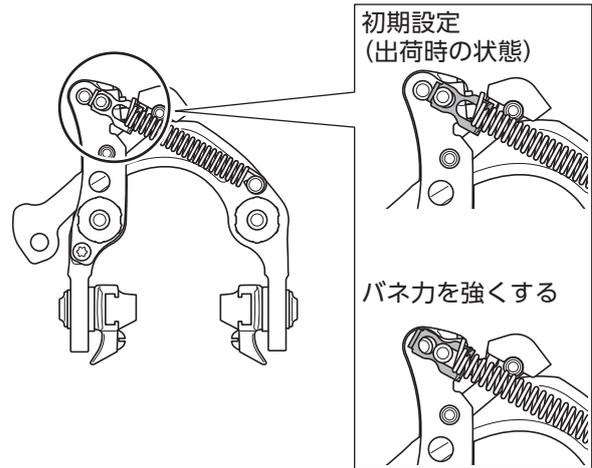
治具を使用しない場合

1. ブレーキキャリアをフレームから取外します。

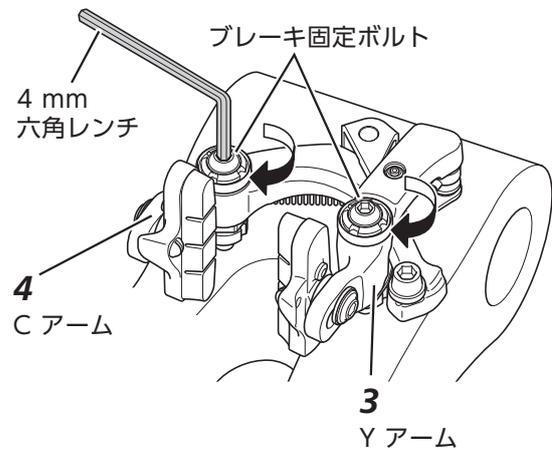
使用上の注意：

ブレーキキャリアをフレームから取外す場合、バネのテンションが架かっているため、跳ね返りなどに気を付けてください。

2. バネの位置を掛け替えます。

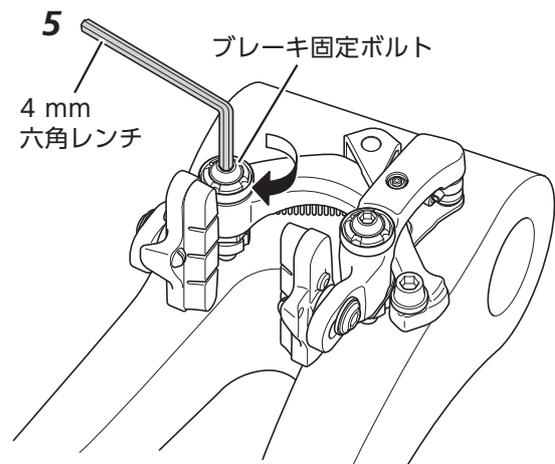


3. フレームにY アームを半分程度締付けます。



4. フレームにC アームを締付けます。

5. ブレーキ固定ボルトを本締めします。

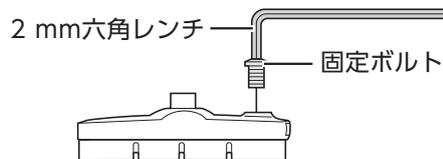


締付けトルク：
5 - 7 N・m

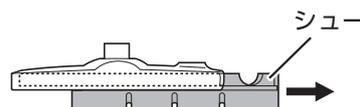
メンテナンス

■ カートリッジシューの交換

1. 固定ボルトを外します。



2. シューホルダーからシューを溝に沿って抜き取ります。

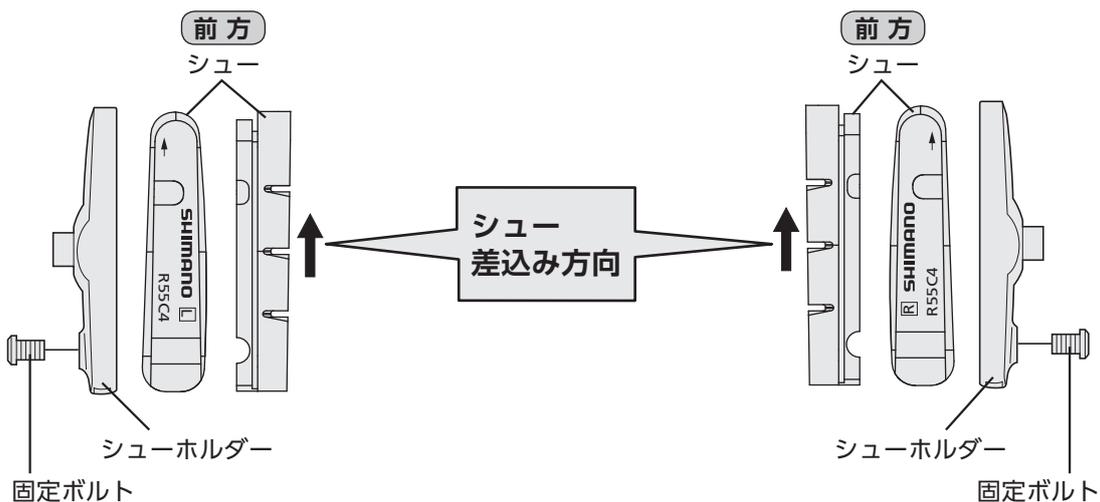


3. シューホルダーとシューには、右用・左用があります。方向とボルト穴の位置に注意し、新しいシューを溝に沿って入れます。

< BR-9000 / 6800 / 5800 / RS500 / 9010-RS / 6810-RS / 5810-RS >

左 用
前後共通

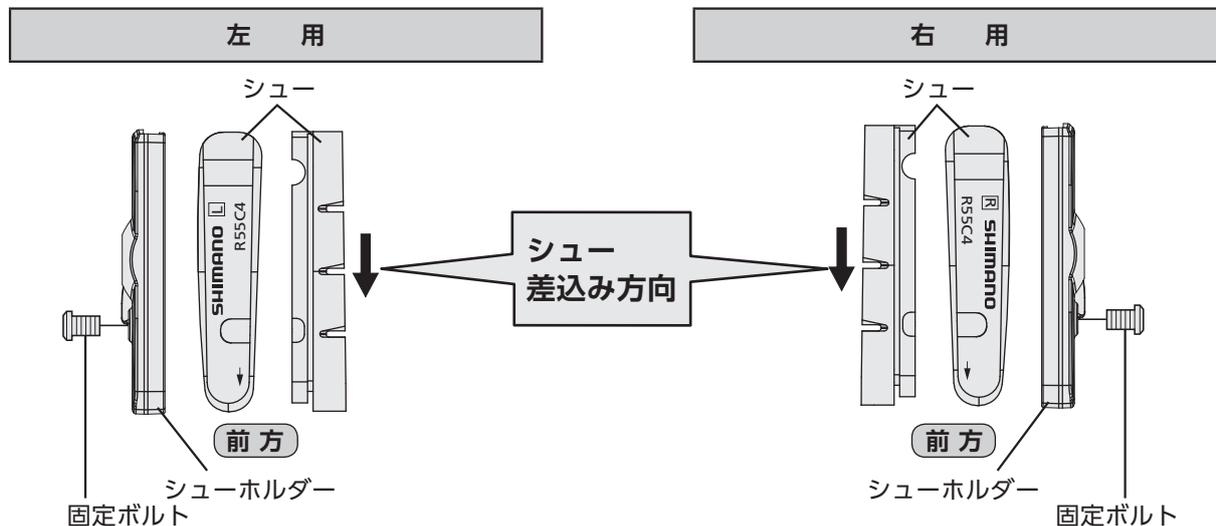
右 用
前後共通



< BR-9010 / 6810 / 5810 / 5710 >

警告

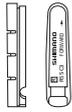
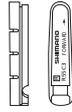
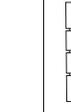
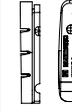
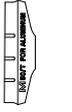
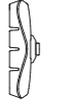
BR-9010/6810/5810/5710のシューホルダーには必ず専用のブレーキシュー (R55C4 / R55C4(カーボンリム用) / R55C4-1(カーボンリム用))をご使用ください。従来のブレーキシュー(R55C3/R55C3(カーボンリム用)/R55C2/R55C(カーボンリム用) /R55C(セラミックリム用) /R55C+1)はシュー固定位置が異なり固定ボルトを締付けることができないため、ブレーキシューが外れ、ブレーキが効かなくなります。



4. 固定ボルトを締付けます。

締付けトルク：
1 - 1.5 N・m

■ ブレーキシュー特性

モデルNo.	R55C4	R55C2	R55C3	R55C カーボンリム用	R55C-1 カーボンリム用	R55C+1	R55CT4	M50T	R50T	R50T2	R50T4	
ブレーキシュー 形状												
カートリッジ タイプ	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	
推奨リム	アルミニウム	アルミニウム	アルミニウム	カーボン	カーボン	アルミニウム	アルミニウム	アルミニウム	アルミニウム	アルミニウム	アルミニウム	
特徴	ドライ時の 制動力	★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆	
	ウェット時の 制動力	★★★★☆	★★★☆☆	★★★☆☆	★★★★☆	★★★★☆	★★★☆☆	★★★★☆	★★★☆☆	★★★☆☆	★★★★☆	
	静粛性	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆	
	アンチ フェイド	★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★☆	★★★★★	★★★★★	★★★★☆	
	耐久性 (オンロード)	★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆	
	耐久性 (泥状況)	★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★★	★★★★☆	★★★☆☆	★★★★☆	★★★☆☆	★★★☆☆	★★★★☆	
	アンチリム アタック	★★★★☆	★★★★★	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆	★★★★★	★★★☆☆	★★★★★	★★★★★	★★★★☆	
	BR-9000	スタンダード	-	-	オプション	オプション	-	オプション	-	-	-	-
	BR-9010	スタンダード	-	-	オプション	オプション	-	オプション	-	-	-	-
	BR-6800	スタンダード	-	-	オプション	オプション	-	オプション	-	-	-	-
BR-6810	スタンダード	-	-	オプション	オプション	-	オプション	-	-	-	-	
BR-5800	スタンダード	-	-	オプション	-	-	オプション	-	-	-	-	
BR-5810	スタンダード	-	-	オプション	オプション	-	オプション	-	-	-	-	
BR-RS500	スタンダード	-	-	オプション	-	-	オプション	-	-	-	-	
BR-5710	スタンダード	-	-	オプション	オプション	-	オプション	-	-	-	-	



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 **シマノ**

〒590-8577 堺市堺区老松町3丁目77番地